

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第385号

信徒総会 新会長に上川 直子さん

6月23日ミサ後、信徒総会が開かれました。今年の年間テーマは「信じる喜びから 伝える喜びへ」で、「今までの内省的な信仰態度から、より積極的に福音宣教を試みましょう」との意味がこめられています。また、新年度の役員改正では外部団体の役が増えたことから小教区での活動を少しセーブしたいと、田中拓前委員長が副会長に、新会長には上川直子さんが就かれることになりました。

この日の参加者は63名で、やや少なめでしたが、決まった内容は充実したものになったようです。

総会は「始めの祈り」に続き谷口神父様の「信徒総会で、お互いの意思疎通を取ることがもっとも大切」との言葉で始まりました。2018年度の行事、会計報告に続き大塚孝さんから会計監査報告がありました。

引き続き2019年度の小教区委員小グループの紹介がありました。小教区委員会事務局関係では、リードで紹介したように正副委員長が交代しています。総務、財務委員は今までどおり、明石良夫さんが総務、岩崎淑子さんが財務を担当され、この4人に谷口神父様を加え事務局の構成メンバーとなります。

これ以外の小教区メンバーでは、営繕に濱口学さんが、青少年に窪田将也さんが小教区委員長としてなっていま

す。また地区委員は昨年の10地区から4地区制へと完全に移行しました。担当地区と委員はそれぞれ浜村誠治さんが芦屋・遠賀、俵富士夫さんが梅ノ木・吉田・中間、岡田芳博さんが赤間・海老津、大塚孝さんが折尾・高須青葉をそれぞれ担当することになりました。

最後に新会長の上川直子さんから「皆さんに支えられながら、会長として、がんばっていきます」と挨拶がありました。

パクチーを育てています・・・・・・・・	2面
世界三大宗教を知る・・・・・・・・	3面
委員会報告・・・・・・・・	4面
教会学校より・・・・・・・・	5面
熊本復興支援「田植え」に汗・・・・	6面
幼稚園から・・・・・・・・	7面
お知らせ・俳句・・・・・・・・	8面



パクチー（コリアンダー）を育てています！

谷口 尚志 神父

先日、聖母幼稚園の使用していないプランターを一つお借りして、パクチーの種を植えてみました。パクチーとはセリ科の一種の香草で、いわゆるコリアンダーのことです（同一のものであると知ったのは、恥ずかしいことに最近になってのことです）。素人でも育てられるということだったので、安心して水だけをあげていましたが、数日すると少しずつ芽を出し、今では若葉を収穫できるまでに成長しています。何とも筆舌に尽くしがたい香りと風味で、クセになってしまう人と苦手な人とがハッキリ分かりますが、わたしは神学生の時に参加したタイでの学習ツアーですっかり慣れてしまい、タイ料理やベトナム料理などのエスニック料理に入っていなければ物足りなさを感じるほど好きになってしまいました。

ペトロの第一の手紙1章23節にはこうあります。「あなたがたは朽ちる種からではなく、朽ちない種から、すなわち、神の変わることの無い生きた言葉によって新たに生まれたのです。」

わたしたちは、ペトロが言っているように神さまからの生きた言葉によって蒔かれ、すべての人の前で芽を出し、その神さまからの生きた言葉を実らせ、今度は周囲の人に振る舞うように招かれています。つまり、コリアンダーを好きな人が口を揃えて言うように、それがなければ物足りなさを感じさせる存在となっているのです。洗礼によって復活の命に新たに生まれたわたしたちが、人生の物足りなさを感じている多くの人のために振る舞われる存在として、日々成長できますように。



(世界三大宗教を知る)

キリスト教 (3)

ギリシャ正教の教会には旧約聖書からの教え通り彫像はありませんが、信仰の象徴としての十字架だけがあります。彫像とは何かというと、マリア像とかペテロ像とかカトリック教会では当たり前にあるものが全てないのです。その代わりアイコンと呼ばれる聖画が沢山あります。水巻教会にも祭壇に向かって右側に置いてあるのがアイコンです。

聖堂は内陣と外陣に分かれていて、内陣には仕切りの壁があって一般信徒は入れず、中は見えません。外陣の一番前にはその教会の守護の聖人のアイコンがあり、参拝した人はアイコンの前で十字架を切ってからアイコンに接吻します。もちろんアイコンの上にはガラスが張ってあります。もうひとつの特徴は聖堂内に椅子が無いことです。長い典礼の時、信徒は最初から立っているので途中で倒れる人がいるそうです。修道院の聖堂には丸い聖堂の周りに修道士席がある教会もみましたが、信徒席は見たことがありません。そのかわり信徒はかなり自由に出入り入ったりしているようでした。

東方教会の象徴であるアイコンにはオリジナル作品はありません。伝承されたアイコンを正確に模写するだけです。アイコンの模写だけを一生行かう修道士も居るそうです。

ギリシャの東海岸側にアトス山という2000m級の山があります。その山がある半島に一般の人は入域ができません。本土との間に境界があります。広大な半島全体が修道院となっていて一万人くらいの修道士が自給自足の生活をしています。ここへは一日12名だけアテネの事務所で許可を貰うと入れるそうです。入ったことがある人に聞くと、毎日が祈りの生活の中で、粗食に耐えている所に一般人が入ると大変だそうで夜に腹が減って眠れなかったと言っていました。しかし最近では若い修道士が増えていて、有名な断崖の上にあるメテオラの修道院との間と人事交流しているそうです。

このアトス山の修道院が生産して売っているワインがあります。とても良いワインですが、値段が安くて誰でも買うことができます。私が行った時は毎日このワインを飲みました。

西ローマ帝国のキリスト教会のカトリック教会は今のヨーロッパ地域に広く広まりましたが、色々な出来事がありました。特に7世紀にアラビアで誕生したイスラム教がアフリカ北部や今のイラクやイランへと広まりました。特に大変だったのはアフリカから侵入してきたイスラム教徒にスペインが占領されたことです。

711年イスラム教徒はジブラルタル海峡を渡りスペインに侵入しました。その後瞬く間にイベリア半島のほとんどをその手におさめました。ところがイスラム教勢力はその宗教がユダヤ教やキリスト教の影響を受けていたことから、比較的異教徒に寛大だったそうです。

キリスト教徒による反攻(レコンキスタ運動)は早くから始まりましたが、14世紀になって終結しました。しかし、キリスト教もイスラム教に寛大であったため、その時代では先進的であったイスラム文化がイベリア半島に残ることになりました。イスラム教徒の農耕、灌漑、建築、工芸の技術は他のキリスト教国を上回っていたのです。(広報 岩本)

委員会等報告

2019年6月分

6月度小教区委員会 6月9日

1. 行事予定

- ・7月 7日(日) 小教区委員会
- ・7月 14日(日) 大人の日曜学校
講師：谷口神父様
講題：カトリック教会における結婚とは
- ・7月 15日(月) ファミリーキャンプ
場所の予定：竜王峡

2. 議題

(1) 各委員会報告

①典礼委員会より

冠婚葬祭の式次第を見直しており、原稿が完成しました。

②納骨堂委員より

換気扇の老朽化の為、交換予定。大原委員長にて見積をとります。

③宣教委員会より

11月23日(土)教区の日が無くなりました。教皇様来日も曖昧であることから、その日を一日巡礼旅行に充てることとします。

時間：7:00 ～ 18:00

バス代 11万円(教会負担)

定員 53名(45名+補助席8名)

候補地を委員会より提示し、アンケートをとることとします。

(2) その他

①掃除当番、奉納の当番について

7月から新地区で掃除当番、奉納の当番を割り当てする。詳細は8面に掲載しています。

②レプトン会より

9月8日(日)ミサ後報告会を開催します。

③北九州信徒使徒職協議会について

担当司祭が決まりました

- ・信仰育成部会：江夏神父様、大塚神父様、イム神父様
- ・福音宣教部会：川上神父様、寺浜神父様、井手神父様
- ・青少年育成部会：牧山神父様、谷口神父様、シン神父様

④オルガンのバッテリーが切れ掛かっている。メンテナンスを行います。

⑤聖母幼稚園より

- ・シャツ、看板、掲示板を更新します
- ・幼稚園の保護者を対象に谷口神父様による勉強会を実施 於：信徒会館
- ・信徒会館横の椅子を交換します

⑥駐車場利用のマナーアップ

乗り入れは優しく。砂利が道に出ないように。砂埃を上げないような運転を心掛けてください。

⑦故李神父様の安息を祈るミサ

10月6日(日)午後にミサを行う方向で検討しています。

⑧鐘楼の修正について

鐘楼が斜めになってきている。修正方法について吉田設計に相談する。

⑨駐車場の車止め設置について

幼稚園バス車庫のある駐車場において、駐車時にブロック塀に衝突する可能性が考えられるので車止め設置について検討する。

⑩スロープ下の物置の整理

テントも不要ではないか。不用品の整理を行うこととする。



教会学校のページ



5月12日

教会学校も新学期のスタートです。この春はとーっても嬉しいことに2名の新一年生の女の子が教会学校に加わりました！梅宮遥(うめみや はるか)さんと宮本絹佳(みやもと きぬか)さんです。二人と聖母幼稚園の卒園児です。谷口神父様もお忙しい中暫しお顔出し頂き、皆自己紹介をしました。

6月9日

この日は、3年生の平田凌愛(ひらた りな)さんも久しぶりに出席してくれて、女の子の声と笑顔で華やかな教会学校となりました。また先輩として教会学校を引っ張ってくれている、蓮君、樹祈くんのリーダーシップにもますます期待できそうです！(^◇^)

皆さま、新しいお友達が増えて少しパワーアップした今年度の教会学校、応援よろしくお願いします。♡(´▽`)(´▽`)♡

*今年のファミリーキャンプを7月15日(月・祝)に予定しています。子どもたちにとって楽しい夏の思い出となるよう、神父様を中心に企画中です。詳細は後日案内します！



6月16日

ミサ後の教会学校で、谷口神父様が子どもと親、教会学校関係者を集めて、「教会の中にあるいろいろな道具、器物」の説明をしてくださいました。

祭壇、聖櫃(せいひつ)、朗読台、マリア様の御像、十字架、十字架の道行き等々。

今まで、ミサに参加していながら知らなかったことを、真剣に耳を傾けていた子どもたち。ミサの様々なことを知ってミサにあずかることの大切さを知ったことでしょう。こんな教会学校もいいですね。



熊本復興支援「田植え」に汗

熊本地震の復興支援に行ってきました。福岡教区で2年前から取り組み始めた田植えも今回で3回目となり、参加者も去年と同じくらいの100人ほどが参集しました。場所は西原村の「白糸の滝」付近の細長い田んぼです。

熊本地区の教会信徒、地元の方々に用意してくださった昼食を地元公民館でおいしくいただき、白糸の滝近くの田んぼにつきました。この日は程よい風に恵まれ、照り付ける光も気にならないほどの好天に恵まれました。ただ残念だったのは水巻教会からの参加者は二人と昨年同様だったこと。今年秋に行われる「収穫の秋・稲刈り」には三人、四人と駆けつけてもらいたいものです。



昨年同様、100人以上が参加したことから、作業は短時間で終了しました。初めこそ、ほとんどの参加者が初めてとあってもたつきましたが、田んぼの三分の一を植え終わるころには慣れてきて、談笑しながら楽しく作業が進みました。

中でも楽しんだのは、子供たち。冬用のスキー板に二歳ほどの子供を乗せて田んぼを行き来、子供ははしゃいで泥まみれ。またある子どもは、顔を泥でお化粧？。終始、笑いが絶えませんでした。

昨年は収穫されたコメ 150 キロを水巻で購入していただきました。今年はナ

ノ酸素という技術を導入してよりおいしいお米を目指しているとか。今年の秋こそ、あなたも「稲刈り」に挑戦してみてはいかがでしょうか。

(広報委員 山口一隆)





水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 7月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

<水巻聖母幼稚園>

6月1日(土)は西日本体育教室の北富晴美先生をお招きして、『幼児期の運動の役割と家庭での関わり方』についてご講演いただきました。日常生活、毎日選びの連続。その中で心を動かして自分づくりが出来るように、子どもとの関係を見直す良い時間となりました。

講演後は、園庭でボールを使って親子で活動をしたり、かけっこをしたりして、たくさん体を使いました。

【夏祭り】

7月20日(土) 16:00~18:30

未就園児のお友達には、プレゼントをご用意してお待ちしております。

水巻聖母幼稚園 TEL: 093 201 9559

e-mail: contactus@mizumakiseibo.ed.jp



<マリア子どもの家>

先日は親子遠足や聖母の集いなど、幼稚園の行事に参加し、貴重な時間を持ちました。親子遠足のグリーンパークでは、色とりどりの花に囲まれ、広い芝生の上で体操やボール運びリレー、フープ渡しをして楽しく遊びました。それからは、幼稚園の園庭で体操が始まるのを楽しみに待っています。昼食のために土間に上がっても、振り返って体操を始めます。

昨日、マリア子どもの家の西側に、雨の日でも体が動かせるようにと、屋根付きの広場が出来ました。直接、植物にも触れることができるので、活動の広がりを楽しみにしています。



TEL: 050 5212 7759

HP: 水巻町マリア子どもの家

水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家

園長シスター松川明子 教職員一同



★特別献金★

5月26日 世界広報の日献金

29,570円

ご協力、ありがとうございました。

★大人の日曜学校★

日 時：7月14日(日) ミサ後

テーマ：カトリック教会における結婚とは

講 師：谷口神父様

たくさんの方の参加をお待ちしています。

★7月からの掃除当番・奉納当番★

信徒総会後から地区割が新しくなります。それに伴い、掃除当番と奉納担当も変わります。

《掃除当番》

第1週 芦屋・遠賀地区

第2週 梅ノ木・吉田・中間地区

第3週 赤間・海老津地区

第4週 折尾・高須青葉地区

第5週 全員

《奉納当番》

7/7 芦屋・遠賀地区

7/14 梅ノ木・吉田・中間地区

7/21 赤間・海老津地区

7/28 折尾・高須青葉地区

以下 繰り返し

★ファミリーキャンプ★

日 時：7月15日(月)海の日

場 所：竜王峡(予定)

詳しい日程・内容については、ミサ中のお知らせや掲示板をご覧ください。



【転入】ようこそ!水巻へ

◇宮城 直美さん

黒崎教会から折尾地区へ



福島東三子さんが、「からしだね」に対してご提案をくださいました。「表題のからしだねの意味を、毎号のつけては」というもので「昔から水巻教会の信者さんは、知っていることでも新参者はわからない。想像はつくが、それが本当か自信がない。その意味が分かれば、からしだねがもっと身近になるのではないか」。

そこで、これからは毎号からしだねの由来となった聖書の箇所を明記していきたいと思います。マタイ13章31節、マルコ4章30節、ルカ13章18節

遠賀地区の福島さんより俳句を頂きました。
★沈黙の海 エメラルドに煌めき 聖母月
★波路立つ 五島の海や 聖五月

東海子(福島さんの俳号です)